

Cyprus Sunshine Cup 2014 第2戦 (Voroklini) レースレポート

BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM 齊藤 亮

大会名：Cyprus Sunshine Cup 2014 第2戦 (Voroklini)

期日：2014年3月9日 (日)

会場：キプロス / Voroklini

天気/気温：雨/曇・25°C

競技種目：XCO 男子エリート
(StartLoop1Lap+6Lap)

参加数：85名

Web：<http://www.cyclingcy.com/index.php>



.....

先週末のサンシャインカップ第1戦のステージレース(全4戦)から1週間。一息つく間もなく1週間が過ぎ去った。休養とリカバリーを組み合わせながらも、水曜と木曜には2回インターバルで刺激を入れてレースモードを作り上げていく。レースをこなす中で課題や欠点なども浮き彫りとなってきているが、まずは万全の体調でレースに臨むことが今は必要と考えていた。そして心身ともに充実した気持ちでレースを迎える。宿泊先のホテルからレース会場までは15分程とアクセスも良い。毎日晴天が続いていたキプロスもレース当日の日に限って雨予報……。不安要素は募るが、気持ちを切り替えどんな状況下でも対応できる準備を進めた。

会場到着時には予報通りの本降りの雨。しかもスコールの激しさ。一瞬にしてあたり一面水浸しでマッド状態へと変化していく。しかし30分程降り続いた雨も次第に上がり始め曇り空へと変化。もう降らないでくれと思いながらアップを開始。気温が高いせいもあり、コース状況は次第に回復傾向に。コースはテクニカルな岩場やロックセクション、激しいドロップオフやキャンバーなど、下りでのテクニックがとても必要とされる難コース。登り下りともに、シングルトラックが多いのが特徴で、日本では経験したことのないような激しいセクションが多数存在する。

コース試走では思いの外よいイメージで走ることが出来ずにライン取りに最後まで悩んでいる自分がいた。男子エリートのスタートは定刻通りの12時。スタートループ1周+6周回。UCIポイント順にスタートコールされ27番コールでスタートラインに並ぶ。3列目の絶好のスタートポジション。号砲一発、スタートダッシュから物凄い勢いでレースが開始。狭い路地、タイトなコーナー、登り返しなど、激しいポジション取りで落車も発生する。巻き込まれないように細心の注意をしながらも、あたふたしている間に集団後方に押しやられてしまう……。このスタート時の格闘技みたいなポジション争いに

自分から加わらなければいつになっても後方からのレース展開になってしまったと感じた瞬間。ストップ&ゴーをひたすら繰り返し、乗車できる区間になっても前の選手が遅くてなかなかパスも出来ずに苦戦。下りが苦手な選手でも、ダブルトラックに出てコースを譲ってくれることなんてまずあり得ない。むしろそういう選手に限ってダブルトラックの登りがむちゃくちゃ速かったりする訳で……。コース幅が広がる瞬間に全力でもがいて少しずつ前へとジャンプアップ。1周目のスタートループを終えてトップと1分差。まだ自分のいる後続の集団ではストップ&ゴーを繰り返してペースが落ち着かない。トップ集団から3分弱の後れで2周目のループを終了。早く自分のリズムを掴みたいけど、一瞬でも気を抜いたらどんどんスペースに入れパスされてしまう。集団にいと、思ったようなラインで走ることが出来ずに焦り、ミスを連発する負の連鎖……。冷静にかつ攻撃的な走りを心掛けるが、試走で出来たことがレースでは中々出来ない。



我慢のレースが続くが前へ前への気持ちで追い込み自分と向き合う。1人、また1人と集団から遅れ始めた選手をパスしていき順位を上げていく。後半になるにつれ身体の動きも良くなり、トルクも掛けられるようになってくる。牽制している集団も一気に抜き去り更に前を追う。2本のボトルを飲み切ってしまう給水が足りなく苦しい場面が続いたが、無我夢中にラスト1周を追い込み続け更に3名の選手をパスして36位でのゴール。

悔しさと歯痒さ。しかし今の力を出し尽くした。やはり世界で戦い、上位に食い込むには、まだまだやらなければいけないことが沢山ある。そしてある程度の時間も必要だ。この差を少しでも縮めていくにはどうしたらいいのか。貪欲に考え行動していくしかない。それが今の素直な気持ち。このレースで感じたこと、今遠征の経験をしっかりと生かし、次のステップへと繋げていく。見るもの、聞いたもの、感じたもの、本当に毎日が刺激的で充実した日々を過ごせた。今遠征はこのレースをもって一区切り。また世界のトップライダー達と一緒に走れることが今から楽しみで仕方ない。

たくさんの応援、サポート本当にありがとうございました。次戦も熱い走りができるように頑張りますので2014年シーズンもご支援、ご指導よろしく申し上げます。

【リザルト】

1. ONDREJ CINK(CZE) MULTIVAN MERIDA / 1:39:49.982
2. JAN SKARNITTZL(CZE) SRAM RUBENA TREK / 1:40:07.463 +17.481
3. THOMAS LITSCHER(SUI) MULTIVAN MERIDA / 1:40:25.490 +35.508
4. RUDI VAN HOUTS(NED) MULTIVAN MERIDA / 1:40:49.533 +59.551
5. WOLFRAM KURSCHAT(GER) TOPEAK ERGON / 1:41:31.665 +1:41.683
6. MICHEL VAN DER HELJDEN(NED) GIANT TEAM / 1:42:21.418 +2:31.436
36. 齊藤 亮(JPN) BRIDGESTONE ANCHOR / 1:49:44.842 +9:54.860
59. 平野星矢(JPN) BRIDGESTONE ANCHOR / 1:55:47.517 +15:57.535

【使用機材】

バイク : ANCHOR / XR9

コンポーネンツ : SHIMANO / XTR FC-M985

ホイール : SHIMANO / XT WH-M785

シューズ : SHIMANO / SH-XC90

ペダル : SHIMANO / PD-M980

ハンドル : SHIMANO PRO / XCR

ステム : SHIMANO PRO / XCR

シートポスト : SHIMANO PRO / XCR

フロントフォーク : SR SUNTOUR / AXON-WERX-RC-RL-RC AH CTS 27.5/100MM

タイヤ : BRIDGESTONE / EXTENZA XC (27.5×2.1)

サドル : Prologo / X ゼロ TiroX

ヘルメット : KOOFU / WG-1

サングラス : adidas eye wear / evil eye halfrim pro / クリスタル S グラデーション

ケミカル : HOLMENKOL

時計メーター : SUUNTO / AMBIT2S

ネックレス : SEV

ドリンク : SAVAS (株式会社明治)

サプリメント : SAVAS (株式会社明治)

レースウェア : WAVE ONE

レースグローブ : KABUTO / PRG-3

アンダーウェア : CRAFT

インソール : SUPER feet / Black

アパレルウェア : Columbia

ザック : deuter

テーピング : New-HALE

